

新年のごあいさつ

鳩山町長 小峰 孝雄



「幸せを感じていただけるまちづくり」を目指して

あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

令和6年の展望ですが、はじめに「子育て支援」と「移住促進」でございます。

本町では、少子高齢化が著しく進んでおり、少子高齢化対策の一環として、子育て支援事業及び移住促進事業に今まで以上に取り組む必要があります。

そこで、「少子化を取り巻く現状と課題を踏まえ、より効果的な子育て支援及び少子化対策の具体的な対策を検討すること」を目的として、令和5年度に少子化対策検討本部会議及び同プロジェクトチームを設置し、町民の皆さまと一緒に「鳩山町少子化対策チャレンジプラン」を策定いたしました。

具体的なプランの一つとして、令和6年度から「産後ケア事業」を開始いたします。この事業

は、産後、ご家族などから家事、育児等の支援が十分に受けられないお母さんと赤ちゃんを対象に、安心して子育てができるように、心と体のケアや育児相談など、出産後のお母さんと赤ちゃんの新生活を応援していくものでございます。

このほかにも、子育て支援に関する情報をいち早くお届けする「子育て支援アプリ」や「ファミリー・サポート・センター事業」、「第2子以降の保育料免除」、「学校給食費の無償化」など様々な事業を展開してまいります。

また、「子育て世帯移住促進補助事業」として、鳩山町で住宅を新築または購入し、転入してくる子育て世帯を対象に、補助金を交付し、移住を促進してまいります。

次に、「安全・安心で健康なまちづくり」でございますが、高齢者施策の充実を図るとともに、町民が生涯活躍できる町を

目指し「栄養・運動・社会参加」

の3本柱を基礎とした健康づくり事業に継続的に取り組む、その成果として、健康寿命の延伸と、現在、埼玉県内で一番低い介護保険料となっております。次期介護保険料も引き続き県内で一番低い介護保険料を目標に取り組みを進めてまいります。

また、新型コロナウイルス等の感染症防止事業に継続的に取り組むとともに、高齢者対策の一環として、加齢とともにリスクが増加する带状疱疹ワクチン接種費用等の助成にも取り組ん

でまいります。

これまで、町民の皆さまに「鳩山町に住んで幸福」と感じていただくための基本となる「安全・安心で健康なまちづくり」を積極的に推進してまいりましたが、令和6年も、幸せを感じていただけるような「まちづくり」に全力で取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。結びに、皆さまにとりまして、素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げます。簡単でございますが新年のご挨拶とさせていただきます。

町長が選ぶ令和5年 町内5大ニュース

- ① 埼玉西部クリーンセンター落成式実施、4月本格稼働(2、4月)
- ② 南比企窯跡が国指定史跡に(3月)
- ③ 「鳩山町人権問題を考える町民の集い」で仙台育英学園高等学校硬式野球部監督の須江航氏が講演会を実施(12月)
- ④ 鳩山中学校吹奏楽部が東日本学校吹奏楽大会において2年連続金賞を受賞(10月)
- ⑤ 「鳩山町少子化対策検討プロジェクトチーム」が発足、少子化対策チャレンジプランを策定(11月)